

人間栄養学 (2単位)

担当者氏名 川野 因・田中 越郎・本間 和宏・日田 安寿美・若菜 宣明・多田 由紀

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

生活習慣病を予防する上で欠かすことができない健康阻害要因への系統的理解を深めるとともに、健康の保持・増進を目的とした各種栄養施策と食事摂取基準の考え方、そしてこれらの採択根拠となる国民健康・栄養調査の実施方法とデータの取り扱いかたについて解説する。また、傷病者の栄養治療法についても考察する。さらに、国内だけでなく広く国際社会にも目を向け、国際社会が抱える栄養・食生活課題を知り、課題解決のための基礎的スキルとしてのヒト対象試験の基本を修める。そして、動物である人間が生涯にわたって健康的に過ごすための「人間栄養学」の考え方の基礎と課題解決のための基本的スキルの修得を目指す。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

| | | | |
|-------|------|---------|---------|
| 公衆栄養学 | 栄養疫学 | 栄養補給 | 運動生理学 |
| 臨床栄養学 | 健康増進 | 食生活・食習慣 | 生活習慣病予防 |

◆授業の進行等について

| | テーマ | 内容 | 授業のねらいまたは準備しておく事項 |
|----|---------------|--------------------------|--|
| 1 | 健康阻害要因の系統的理解① | 栄養素の過不足 | 日本人の健康阻害要因を系統的に理解し、国民健康・栄養調査および食事摂取基準の解釈を深めるため、講義に加え、院生同士の論議も重視する。また、栄養疫学研究で使用する統計処理方法を確認し、実践力を養成する。 |
| 2 | ② | 運動の過不足 | |
| 3 | ③ | 飲酒、喫煙およびストレス | |
| 4 | 日本人の食事摂取基準① | 国民健康・栄養調査の実施とその活用 | |
| 5 | ② | エネルギーおよび栄養素摂取基準の基礎 | |
| 6 | 生活習慣病予防対策① | 生活習慣病発症と遺伝子多型 | |
| 7 | ② | 生活習慣病発症の環境要因と予防戦略 | |
| 8 | 傷病者の栄養治療法① | 糖尿病、腎臓病、肝臓病の発症機序 | |
| 9 | ② | 糖尿病、腎臓病、肝臓病の栄養療法 | |
| 10 | 国際栄養における課題① | 国際栄養の現状-貧困施策、PCMと栄養不良 | |
| 11 | ② | 国際栄養の現状-高齢化、過剰栄養 | |
| 12 | 栄養疫学の基礎① | エビデンスの構築 (エビデンス・グレーディング) | |
| 13 | ② | ヒト対象試験に必要な統計処理方法 | |
| 14 | 栄養疫学の応用① | コホート研究・臨床試験の組み立て方 | |
| 15 | ② | 無作為化比較試験の実際 | |

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

プリント配布

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

関連論文

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート (50%)・課題 (50%)

◆その他受講上の注意事項

無し